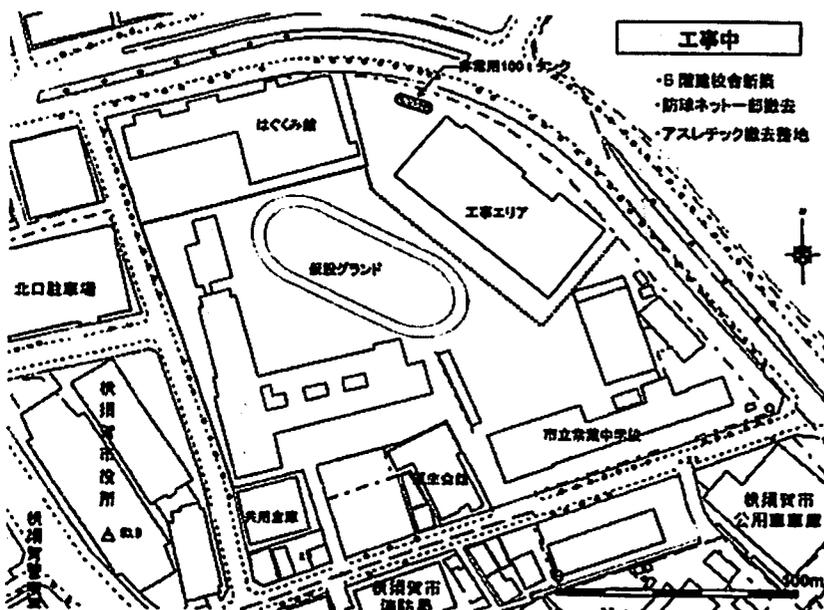


「何で私たちはグラウンドが使えなくなるの？」

多くの子どもたちの疑問に誠実に向き合うために、

常葉中グラウンド内への諏訪小学校建設計画案の検討を求め、署名運動を始めました。

▼横須賀市内の小中学校が耐震工事を進める中、諏訪小学校は校舎の老朽化のため、耐震工事ができずに、建て替えの運びになりました。そこで市は「市立諏訪小学校検討プロジェクト会議」を2008年5月に立ち上げ審議してきたそうです。しかし、その会議には市民・保護者の声は届くことなく、私たちは12月に一方的な決定を受けることになりました。



▼プロジェクト会議議事録(開示請求済み)では10月22日の第3回会議で、第3部会(建設位置・プール・運動場等の検討する部会)は、「校庭が使えないことの学習の保障、部活等の活動保障を考えれば、「諏訪小敷地内」の建て位置が妥当」としています。

▼しかし、12月17日の第4回の会議では唐突に「小中連携プラン」をすすめる進行を強いられ、反対意見のある中で、「子どもたちへの教育環境の視点」が軽視されたうちに、強引に「常葉中学校グラウンド内」へ建設することに決定しています。

▼私たちは諏訪小学校の建て替えには賛成です。校舎は早急に建設をする必要があります。

▼なぜ常葉中学校の敷地内に建設する案なのか、いまだに十分な説明がありません！

▼横須賀市教育委員会は、12月25日説明会以降、①「小中連携モデル実践校」とするために隣接して設置したい②防災の観点から一体のグラウンドにしたい、と説明しています。

しかし、説明会の中での質問と回答で、新たな疑問がわいています。

Q. 3年間の工事中、体育の授業・部活動・体育祭等は保障されるの？

【建設中】常葉中学校グラウンドに建設することにより教育環境に与える影響があります。

- ① 体育の授業はグラウンド使用が制限されることによって十分な活動がおこなえません。中学生の教育課程履修に大きな制限を与えます。
- ② 工事で校庭が使えない時期は、約30ヶ月であると市の教育委員会は説明しています。2010年～2011年では仮設グラウンドのみ使用可、2012年には校庭造成で1年間は仮設グラウンドすらも使えないとも説明しています。
- ③ 2012年には「大津グラウンド・不入斗グラウンドなどを優先的に利用してもらう」としていますが、交通費の負担の問題や移動時間がかかるため、体育の授業・部活動に大きな影響を与えます。
- ④ 体育祭等の諸行事に与える影響 ⇒ 図には200mの仮設トラックが描いてありますが、これはあくまでも目安で、このまま使えるというわけではありません。これまでのような体育祭の開催は困難です。
- ⑤ 子どもたちに与える心理的影響 ⇒ 本来受けなくてもよい不利益により中学校生徒には多かれ少なかれ、ストレスがたまり、子どもたちの「荒れ」につながるのではないかと心配です。
- ⑥ 小中連携を進めるならば、教員数を増やすことは最低限必要です。(東京都の場合は一校に定数に加えて4名以上を配置)
- ⑦ 現在グラウンドを使っている部活動「ソフトボール・サッカー・陸上・野球・テニス」は、この計画スペースで個々に活動をする場合、どのように区画配慮しても活動場所は狭くなり、制限されます。

【建設後】常葉中学校グラウンドに建設することにより教育環境に与える影響があります。

- ①各学校独自の校庭が無くなり、幼稚園から中学校までが一体のグラウンドを使用するには危険が伴います。
- ②小学校と中学校では授業時間の違いがあるので、休み時間にもグラウンドを使用できない可能性があります。
- ③国道に隣接するため、騒音の問題と、今後の新港開発計画で観光施設等が建設された場合に、この場所が本当に教育現場として相応しい場所になるのかが心配されます。

Q 接続して、「小中連携のモデル実践校」…では田戸小へはどう対応するの？

- ①常葉中の生徒の7割以上は田戸小出身の生徒です。諏訪小は部活も教師も連携できる。これでは、後から進学して来る田戸小の生徒にとって「新たな中一ギャップ」を生むことになりませんか？
 - ②現在、田戸小は定員過剰状態です。自由にグラウンドを使用することもできません。これから進学する中学校に夢を持って訪れる生徒達は、更に3年間グラウンドの使用制限を負うことになります。
- ▼蒲谷市長は08年施政方針で、「自分たちの声が届く市政」、「自分たちの声が反映される市政」をすすめるとしています。このまま建設計画を実行すれば、市民・保護者の声を軽視した政策決定が強行される恐れがあります。
- ▼教育委員会は保護者を対象にした説明会を1月以降に開催しました。保護者からは「耐震強度が乏しい校舎で建設中も過ごす諏訪小生徒・児童の安全はどのように保障されるのか?」、「今後の中学校の教育環境はどうなるのか?」、「学校選択は終わっているが、これからも変更できるのか? (常葉中を選択したくない)」、「完成後は幼小中でどのように校庭を使って行くのか? 事故は起きないのか?」など、保護者の心配の声は大きくなっています。今後数十年にわたって諏訪小学校・田戸小学校・常葉中学校の3校の教育環境に大きな影響を与える常葉中学校グラウンド内への諏訪小学校建設計画の抜本的な見直しを求め、保護者が中心となって、署名運動を始めました。一人でも多くの市民の皆さんに実態を知っていただき、3月の横須賀市議会に向けて陳情と一緒に提出する予定です。

常葉中学校PTA役員が中心になって「常葉中学区の地域・保護者の会」として、2月4日「常葉中学校の教育環境を守る会」を立ち上げました。

常葉中学校グラウンド内への諏訪小学校の建設検討についての陳情書

(1) 《陳情事項》

- ①「常葉中学校グラウンド内への諏訪小学校建設」案については、どのような経緯で本案に至ったのか、具体的に説明をしていただきたい。
- ②「常葉中学校グラウンド内への諏訪小学校建設」案には、耐震対策がとられていない諏訪小学校の現存校舎で過ごす生徒・児童への安全面の配慮がされていないと考えますが、これに対する具体的な対策を提示していただきたい。
- ③「常葉中学校グラウンド内への諏訪小学校建設」案は、常葉中学校の体育の授業、クラブ活動と体育祭行事等に大きな課題を与えるため、建設期間中の生徒達への心身のストレス、教育の機会の保障に多大な負担を及ぼすと考えます。これに対して充分考慮して頂いた上で、具体的な対策を提示していただきたい。

(2) 署名集約期日 2月20日(金)

【署名用紙が不足の方や回収場所について】

★署名用紙は下記署名簿回収場所に随時補充してあります。

★署名簿回収場所は、常葉中玄関横と田戸小職員玄関横の回収ポストと教育会館玄関横に設置してあります。